

貴保健所管内での大規模（自然）災害の状況についてお聞きします。

問—1 貴保健所で想定される大規模（自然）災害は次のうちどれですか。該当する選択肢全ての番号に○印をつけてください。

1. 地震	2. 火山	3. 水害	4. 風害	5. 津波・高波
6. その他(具体的に:)				

問—2 貴保健所管内で、この5年間に経験された大規模（自然）災害は次のうちどれですか。該当する、全ての番号に○印をつけて下さい。

1. なし	2. 地震	3. 火山	4. 水害	5. 風害	6. 津波・高波
7. その他(具体的に:)					

貴保健所の大規模（自然）災害に対する準備状況についてお聞きします。

問—3 貴保健所が、管内の全ての病院について、大規模(自然)災害時の医療受入状況について把握している項目、全ての番号に○印をつけてください。

1. 災害時の緊急受け入れ体制の有無	
2. 重症度別診療可能救急患者数	3. 重症度別入院可能患者数
4. 講堂など臨時受入可能施設の有無	5. 透析施設の有無
6. その他 (具体的に:)	
7. 保健所以外の部署で把握している(具体的に:)	

問—4 貴保健所が、管内の全ての病院について、大規模(自然)災害時の病院のライフラインについて把握している項目、全ての番号に○印をつけてください。

1. 停電時の自家発電の有無	2. 自家発電時の診療能力
3. 自家発電維持可能時間	4. 飲料水の維持可能時間
5. 生活用水の維持可能時間	6. 診療用に必要な水の維持可能時間
7. 食料の備蓄状況	8. 医薬品の備蓄状況
9. 日用品の備蓄状況	
10. その他 (具体的に:)	
11. 保健所以外の部署で把握している(具体的に:)	

問—5 貴保健所が、管内の全ての診療所について、大規模(自然)災害時の医療受入状況について把握している項目、全ての番号に○印をつけてください。

1. 災害時の緊急受け入れ体制の有無	
2. 重症度別診療可能救急患者数	3. 重症度別入院可能患者数
4. 講堂など臨時受入可能施設の有無	5. 透析施設の有無
6. その他 (具体的に:)	
7. 保健所以外の部署で把握している(具体的に:)	

問—6 貴保健所が、管内の全ての診療所について、大規模(自然)災害時診療所のライフラインについて把握している項目、全ての番号に○印をつけてください。

- | | |
|---------------------------|--------------------|
| 1. 停電時の自家発電の有無 | 2. 自家発電時の診療能力 |
| 3. 自家発電維持可能時間 | 4. 飲料水の維持可能時間 |
| 5. 生活用水の維持可能時間 | 6. 診療用に必要な水の維持可能時間 |
| 7. 食料の備蓄状況 | 8. 医薬品の備蓄状況 |
| 9. 日用品の備蓄状況 | |
| 10. その他 (具体的に: |) |
| 11. 保健所以外の部署で把握している(具体的に: |) |

問—7 貴保健所が、管内の病院・診療所に対して、大規模(自然)災害時にバックアップの体制を検討している項目、全ての番号に○印をつけてください。

- | | |
|--------------------------|---------------|
| 1. ライフラインのバックアップ | 2. 医薬品のバックアップ |
| 3. 情報の提供 | 4. 医療スタッフの提供 |
| 5. その他 (具体的に: |) |
| 6. 保健所以外の部署で検討している(具体的に: |) |

問—8 貴保健所が、大規模(自然)災害時の医療体制の構築において、医療関係者との連携を検討している項目、全ての番号に○印をつけてください。

- | | |
|--|---|
| 1. 災害時避難場所等(トリアージ場所・医療救護所)における医療体制の構築 | |
| 2. 災害時避難場所等(トリアージ場所・医療救護所)と他の医療機関との連携の構築 | |
| 3. 地域基幹病院と他の病院との連携体制の構築 | |
| 4. 地域基幹病院・病院と診療所との連携体制の構築 | |
| 5. 他の医療関係者(薬剤関係、看護関係等)との連携体制の構築 | |
| 6. 他の医療圏、他の都道府県との連携の構築 | |
| 7. その他 (具体的に: |) |
| 8. 保健所以外の部署で検討している(具体的に: |) |

問—9 貴保健所が、大規模(自然)災害時の医療体制の構築において、連携を検討している医療関係者以外の項目、全ての番号に○印をつけてください。

- | | |
|-------------------------------|---|
| 1. 消防関係者との連携体制の構築 | |
| 2. 警察関係者との連携体制の構築 | |
| 3. 地域自治体関係者との連携体制の構築 | |
| 4. 医薬品や患者輸送のために運輸関係者との連携体制の構築 | |
| 5. 地域防災住民組織との連携体制の構築 | |
| 6. 災害ボランティア等との連携体制の構築 | |
| 7. その他 (具体的に: |) |

問—10 貴保健所が、大規模(自然)災害時の情報収集、伝達体制の構築において、検討している項目、全ての番号に○印をつけてください。

- | | |
|--------------------------|---------------------|
| 1. 通常電話・携帯電話 | 2. 衛星電話 |
| 3. 防災無線 | 4. 広域災害・救急情報システムの活用 |
| 5. 独自の無線 | 6. 通信(地域無線)ボランティア等 |
| 7. 職員(バイク、自転車等による)の現地派遣 | |
| 8. その他(具体的に: |) |
| 9. 保健所以外の部署で検討している(具体的に: |) |

問—11 貴保健所が、大規模(自然)災害時の医薬品、患者輸送体制の構築において、検討している項目、全ての番号に○印をつけてください。

- | | |
|---------------------------|---|
| 1. 地震時の道路(橋の強度など)の危険個所の把握 | |
| 2. 災害時輸送道路の確保状況の把握 | |
| 3. 協力可能な災害時車両の種類と数の把握 | |
| 4. 利用できる災害車両の登録状況の把握 | |
| 5. その他(具体的に: |) |
| 6. 保健所以外の部署が検討している(具体的に: |) |

問—12 貴保健所が、大規模(自然)災害時に備えてあらかじめ把握している住民情報、全ての番号に○印をつけてください。

- | | |
|-------------------------|---|
| 1. 災害弱者が入所(暮らしている)施設情報 | |
| 2. 自宅に生活する災害弱者情報 | |
| 3. 地域の行政機関が把握している災害弱者情報 | |
| 4. その他(具体的に: |) |

問—13 貴保健所が、大規模(自然)災害時に備えてあらかじめ把握している地域情報、全ての番号に○印をつけてください。

- | | |
|-----------------------|---|
| 1. 市町村における災害時避難所 | |
| 2. 市町村におけるトリアージ場所 | |
| 3. 緊急時ヘリポートの場所 | |
| 4. 地域のライフライン備蓄状況と場所 | |
| 5. 緊急時水供給体制の確保状況と利用方法 | |
| 6. 医薬品備蓄場所と配布方法 | |
| 7. その他(具体的に: |) |

問—14 貴保健所が、大規模(自然)災害時に備えて、保健所独自あるいは地域の関係者と協力して行っている訓練について、全ての番号に○印をつけてください。

- | | |
|-----------------------------|---|
| 1. 情報伝達訓練 | |
| 2. 職員参集訓練 | |
| 3. トリアージ訓練 | |
| 4. トリアージ場所と地域医療機関との連携訓練 | |
| 5. 地域防災訓練時における総合的シミュレーション訓練 | |
| 6. 広域災害・救急情報システムを用いた連携訓練 | |
| 7. その他(具体的に: |) |

問—15 貴保健所の管内では、大規模(自然)災害時の医療について、地域医療の指揮を司る所はどこですか。該当する場所一か所の番号に○印をつけてください。

1. 都道府県の災害・危機管理担当部局
2. 都道府県の衛生担当部局
3. 保健所
4. 消防署
5. 医師会、包括医療協議会、災害基幹病院など地域医療団体
6. 地域自治体
7. 災害拠点病院の災害コーディネーター
8. その他 (具体的に: _____)

問—16 貴保健所では、大規模(自然)災害時の医療体制について、準備状況はどの程度だと判断しますか。該当する番号一つに○印をつけてください。

1. 災害時の医療体制は十分整っている
2. 一部検討せねばならない個所は残っているが、災害時の医療体制はほぼ整っている
3. 検討せねばならないことが多く、災害時の医療体制はまだ不十分である
4. まだ緒についたばかりであり、災害時の医療体制は今後の課題である
5. 災害時の医療体制の整備は、保健所の役割ではない
6. その他 (具体的に: _____)

問—17 貴保健所では、大規模(自然)災害時の医療体制について、マニュアルを作成していますか。該当する番号一つに○印をつけてください。

1. 作成済みである
2. 作成中である
3. 作成時期は未定である

ご協力ありがとうございました。

佐々木参考資料2

地震等の大規模（自然）災害発生時における医療機関の状況等調査表

医療機関名： _____

記入者： _____

電話： _____

(休日・夜間連絡先) _____

今、地震等の大規模災害が発生した場合（外部からの人的援助や物資の供給が2日間程度遮断される可能性があります。）の、貴院における医療受入体制及び貴院のライフラインの状況について、貴院が被災されていないことを前提に御記入ください。

なお、数値については概ねの数値（予想値）で構いません。

I 医療受入体制について

- 1 災害時に傷病者を緊急的に受け入れる体制が整備されていますか。 例：マニュアルの作成、緊急時の参集体制等
(有りとした場合、その内容をご記入ください)

有り・無し

・マニュアルの有無	<input type="checkbox"/> 有り	<input type="checkbox"/> 無し
	<input checked="" type="checkbox"/> (マニュアルを1部御恵与くい！)	
・医師、コメディカル等の参集体制	<input type="checkbox"/> 整備済	<input type="checkbox"/> 未整備
・災害時を想定した訓練の実施	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 実施していない
・その他（適宜その内容を記載してください）		

- 2 障害程度別の診療可能救急患者数は何人位ですか（トリアージ赤を中心に、貴院内のスタッフでご検討の上お答えください）。

- (1) トリアージ赤（1位 最優先治療群）
(2) トリアージ黄（2位 待機的治療群）
(3) トリアージ緑（3位 保留群）

人位
人位
人位

(コメント)

(注) トリアージの判断基準

色	優先順位	症 状
赤	1 位	緊急治療を行えば助かりそうな人(大量出血、頭部や胸部の外傷等)
黄	2 位	治療の必要性はあるが待機可能な人(熱症、多数又は大きな骨折等)
緑	3 位	入院治療の必要がない人(手や指の骨折、小さな傷や火傷等)

- 3 障害程度別の入院を受入られる患者数は何人位ですか。

- (1) トリアージ1位（最優先治療群）
(2) トリアージ2位（待機的治療群）

人位
人位

地方衛生研究所の役割（地方衛生研究所長会）



地方衛生研究所の地域における健康 危機管理の在り方に関する研究

埼玉県衛生研究所

所長 丹野 瑳喜子

和歌山毒入りカレー事件

地下鉄サリン事件

新型肺炎(SARS)

広域食中毒事件

テロの脅威

核燃料加工施設事故

新型インフルエンザ

牛海綿状脳症

健康危機発生リスクの増加

● 健康危機管理における地研の役割

- 初動体制の構築
- 情報基盤の構築と整備(ソフトウェア機能)
- 検査技術の標準化と普及
- 疫学調査機能の強化
- 科学的根拠に基づいた行政対応支援

● 具体的な健康危機管理対応として、 五つの課題について検討

- 事例集の内容充実とその利活用情報
- 地研間のネットワークの構築
- 試験検査法の開発と標準化
- 試験検査技術の充実・普及
- 地域連携体制の構築

健康危機管理事例のデータベース化とその 利用に関する研究

- ① 健康危機事例の収集
- ② 健康危機管理チェックリストの検討
- ③ 昔情対応事例オンライン登録システムの開発と
その活用
- ④ 症状を用いた健康危害物質別の事例検索シス
テムの開発

健康危機管理のための試験検査の開 発と標準化に関する研究

- ① 遺伝子組換え食品の検査体制の強化
- ② バイオテロ関連の遺伝子検査用プライマーの調
査と開発

健康危機管理のための試験検査技術 の充実・普及に関する研究（Ⅰ）

- ① 研修情報システムとリファレンス情報データベースの作成
- ② 情報システム上での遠隔研修の検討
- ③ 保健所と地研の試験検査技術の向上のための連携の検討
- ④ 手足口病の病原体を中心としたエンテロウイルスの
同定支援

健康危機管理のための地域での連携体制の構築に関する研究(I)

- ① 健康危機管理における地研の役割の再検討と標準化
- ② 健康危機発生時の迅速対応事例に対する連携体制構築の事例研究
- ③ 平常時の検査・調査機能の連携強化
- ④ 地研機能強化のための専門機関との連携構築と拡充強化

健康危機管理情報ネットワーク構築に 関する研究(Ⅰ)

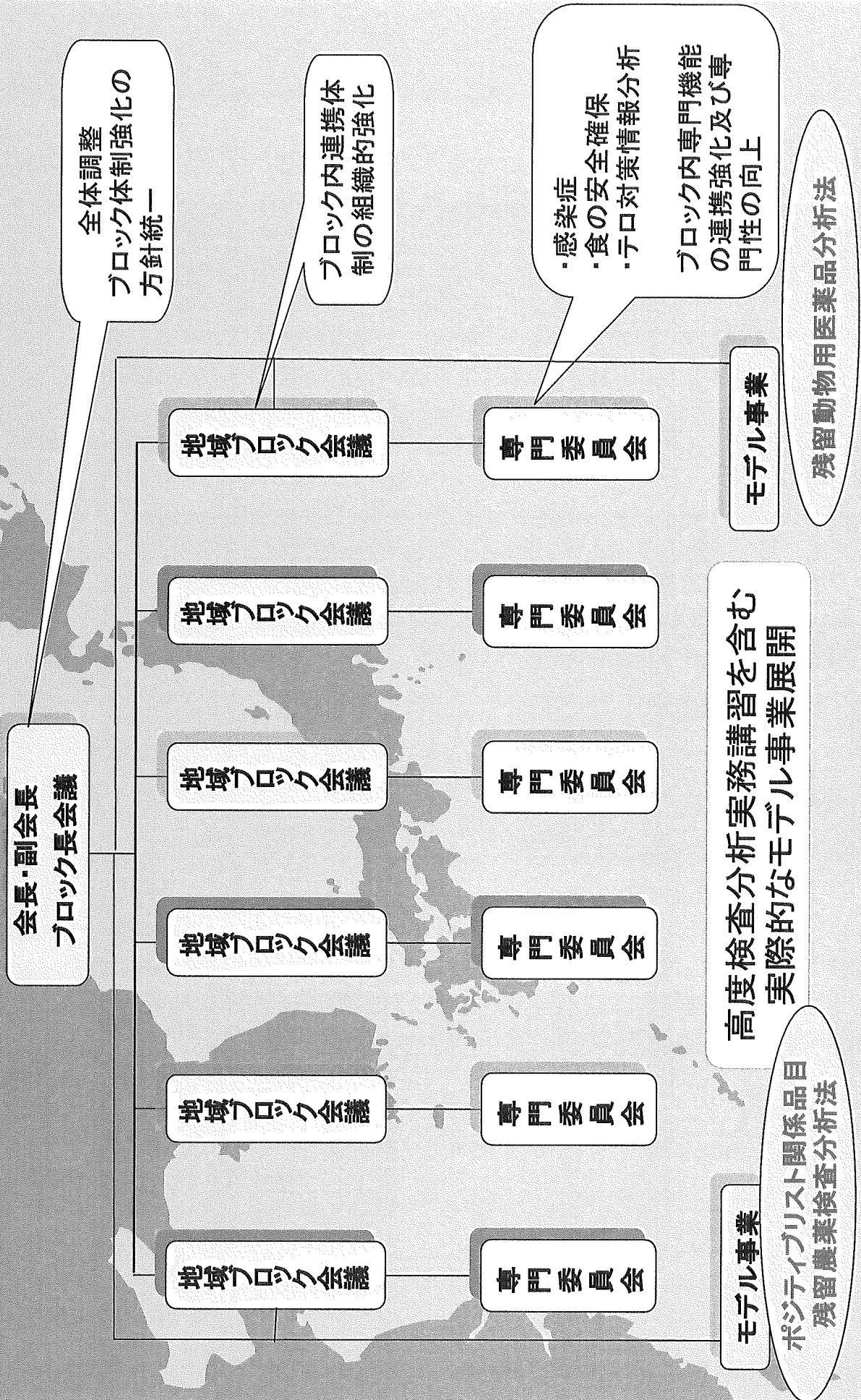
- ① 地衛研ホームページの開設と充実
- ② 地方感染症情報センターネットワーク活用シス
テムの構築
- ③ メールングリストの普及と活用
- ④ 地研と保健所等との地域連携の試み

○ **地域保健総合推進事業**
「健康危機における地方衛生研究所
の広域連携システムの構築」

- **北海道東北新潟・関東甲信静・東海北陸・近畿・中国四国・九州の各ブロック会議の設置**
- **専門委員会の設置**
- **モデル事業の展開**
(食品残留物質の分析に関する研修)

健康危機監視体制の充実と地研間の連携の構築

○ 全国の地方衛生研究所の地域ブロック化とブロック内連携体制強化



健康危機管理の視点から見た 衛生研究所の機能

